



「歩く県道・東松峠（越後街道）」

地域づくりニュース H26 Vol.2

10月11日・12日に、県道別舟渡線の交通不能区間となっている東松峠（旧越後街道）を利活用し、今後の地域づくりに繋げていくための街道修繕の実証実験（道普請）を行いました。地元で調達可能な自然の材料を利用し、資材の運搬や掘削、杭の打設等の作業はすべて人力で行いました。今回は会津坂下町との連携により、より魅力あるウォーキングルートづくりができました。

◆道普請の参加者◆

東松峠を守る会、地元の消防団員、高寺地区地域づくり協議会、東北芸術工科大学の学生・教職員、一般ボランティア、会津坂下町、福島県 …… 11日（土）52名・12日（日）44名 合計96名

今年度の道普請は、前年度までに施工した横断側溝と沢止工の補修と、会津坂下町による「峠の茶屋」に向かう道の修繕について、協力・連携しながらの作業となりました。

参加者全員で丸太や杭等の資材を運搬し、作業を開始。唐鍬やスコップで掘削して沢止工を補修するための基礎を作り、谷側の路肩を丸太で土留して安定させました。

補修に必要な石材は、洞門の入口周辺に積み重なっていた石を運搬して利用しました。大量の石が必要となったため、一輪車に積んで参加者で交代しながら繰り返し運びました。

峠の茶屋手前の谷側斜面が崩落している箇所は、杭を打設し丸太を組み上げて土留を行いました。土留工の高さがあったため施工に時間がかかりましたが、地元の方達からのアドバイスにより、しっかりとした構造物が完成しました。

岩盤で杭や鉄筋が打設できないため作業が難航し、施工方法を変更した箇所もありましたが、みんなで知恵を出し合って、安全に歩ける道に仕上げることができました。



丸太の運搬作業



資材の運搬。繰り返し行うので大変な作業です。

横断側溝土留部分の補修作業



岩盤で杭も鉄筋も打設不可能。土留を石積工に変更しました。

沢止工の補修作業。丸太を組んで石を入れ、路肩を安定させました。



地元の方や学生が一体となって作業を進めました。

母岩が露頭し滑りやすい箇所。



山側の岩盤を削り、階段状のステップを作りました。

丸太を番線で結束し、組み上げる作業。



学生のみなさんが元気いっぱいがんばりました。

峠の茶屋手前の路肩に施工した丸太土留工。



排水対策として山側側溝も整備しました。

第2回歩く県道（東松峠）地域づくり検討会を開催しました

- ◆日時◆ 平成26年12月5日（金） 15時より 東松振興センターにて
- ◆参加者◆ 東松峠を護る会、東北芸術工科大学の学生・教職員、会津坂下町、福島県等 合計20名

●話し合われたこと●

- 今年度の道普請を振り返って、施工方法について意見交換しました。
- 来年度整備を進めたい箇所について話し合いました。
- 「新日本歩く道紀行100選シリーズ」への応募について方向性をまとめました。



みなさまからいただいた意見や感想

今年度の道普請を振り返って

- 2日間で述べ96名という大勢の参加があり驚いた。今まで続けてきた活動に、さらに広がりを持たせたいと思った。
- 自然の素材を利用し景観に配慮して施工した。人力は大変だったが、みんなで一緒に作業できて楽しかった。
- 地元の方に施工方法を指導していただき、授業を越えて学べたこともあったので感謝している。楽しみながらの作業で、立派な構造物ができて良かった。
- ウォーキング大会の参加者から、年々道が良くなっていることがうれしく、参加することを楽しみにしているという声が聞かれた。施工に携われてよかった。
- 学生は4年で卒業し行政の担当者も変わってしまうが、関わって繋がっていけるような仕組み作りができれば良い。口コミなどの情報発信により、多くの人に広がりを持つようになることが良い。
- 懇談会に参加できなかった人の意見を聞く機会も設け、より地元の考えを取り入れた活動にしていったほうが良い。
- 道路環境は、周辺の山林の間伐状況や景観によっても影響を受ける。道の補修作業だけを行うのではなく、周辺地域も含めてどのような整備を行っていくのかを考えていこうと思う。

真剣な眼差しの学生さん



地元の方がお手本です

洞門前広場の様子



明るい雰囲気になりたい！

来年度のスケジュールについて

- 洞門前広場について、休憩スペースとしての利用や洞門への関心が高まるような施工方法を検討し、整備を進めたい。
- 旧道部分で地すべりにより尾根伝いの道が途切れている箇所、峠の茶屋に行く道の岩が露頭している箇所については町管理となるが、県も坂下町役場に協力していきたい。
- 雪の影響等について経過観察を行い、必要に応じて補修作業を行う。

整備が行き届いた峠道



訪れる人が増えています

「新日本歩く道紀行100選シリーズ」への応募について

- 東北芸術工科大学の学生のみなさんの協力を得て、峠道の歴史や地域資源等を整理し、応募する方向で作業を進めていきたい。

美味しい蕎麦をごちそうになりました！

道普請や検討会終了後に、地元の方達が打ってくれた蕎麦をいただきながら、参加者が交流を深めました。温かいおもてなしを受け、感謝の気持ちで一杯です。

これからも地域の方達のご意見をもとに、東松峠を活かした地域づくりに取り組んでいきますので、御協力をお願いいたします。



ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459